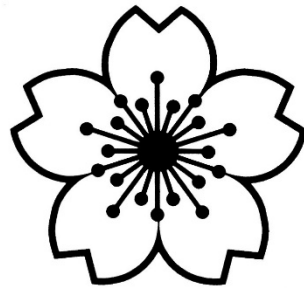


体験授業

令和3年5月23日(日)

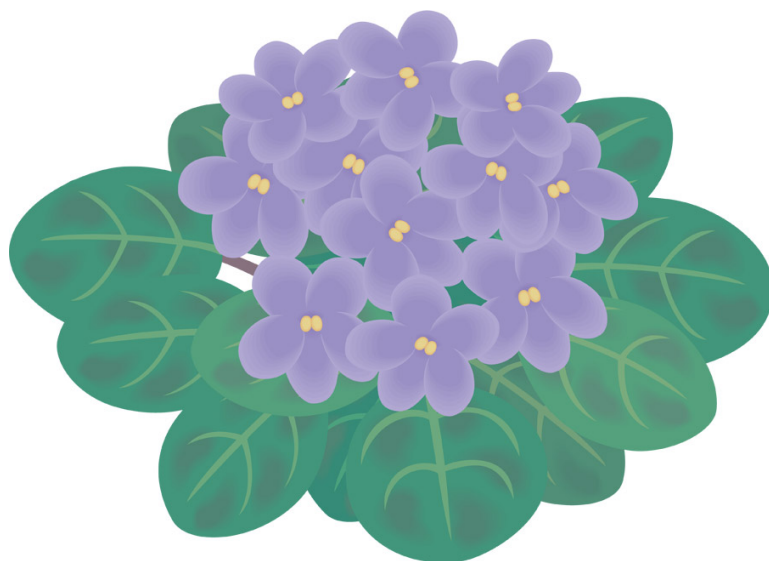


大学の講義を体験できるチャンス！
ぜひ聴いてみて下さい。

跡見学園女子大学

文学部

人文学科 11:35～12:05 3号館1階3155教室	ネット動画から学ぶ現代アジア社会 教授 小川 忠 世界で存在感を高めつつアジアは、日本にとっても最重要地域の一つです。しかしアジアとの相互理解の必要性が語られるにもかかわらず、日本の現代アジア認識は先入観や断片的知識に左右されているのが現状です。この講義では、ロック、ファッションショー、テレビCMなどネット上で流れている最新若者文化の動画を題材に、インドネシアやタイ社会の国民意識の源となるものやその変化を読み解き、アジアが多様で、活力に満ちた魅力的な地域であることを解説します。
現代文化表現学科 10:45～11:15 3号館1階3155教室	マンガとは何だろうか～定義と起源をめぐって～ 講師 三輪 健太郎 マンガは現代日本を代表するポピュラーカルチャーの一つとして知られています。しかし、そもそもマンガとはどんなジャンルだと考えられるでしょうか？ たとえば、今では「アニメ」として知られているジャンルが、かつては「漫画映画」や「テレビまんが」と呼ばれていたように、言葉の意味さえも時代によって変化する曖昧さを持っています。今回は、近年の研究成果を紹介しつつ、マンガの定義や起源について講義し、大学でのマンガ研究を体験してもらいます。マンガの歴史を考察すると、高校で学ぶ世界史や日本史との接点も見えてきますよ。
コミュニケーション文化学科 13:10～13:40 3号館1階3155教室	カタカナ英語を改革する 准教授 中村 聡 カタカナで書かれた数多くの英単語が、日本社会で頻繁に使われています。しかしその多く、たとえばアイロン、エール、カフェイン、キャベツ、スタジアム、ツイッター、バケツなどは、実際の英語音と大きく異なるため、日本に慣れていない英語話者には理解されません。そして日本人は、それらの語の正しい英語音を新たに学ばなければなりません。この授業では、この状況を改善するための、カタカナ英語表記改革案の一端を示します。



マネジメント学部

マネジメント学科 10：45～11：15 3号館1階3156教室	会計情報から見る企業の姿 講師 村上 理 私たちが暮らすこの社会において、企業の果たす役割は重大です。皆さんは、企業のことをどのくらい知っていますか？街を歩けば様々な企業の看板を目にします。あるいは、テレビや動画のCMとして、企業が広告を出しています。これらの情報を通じて、いくつかの企業の名前やその代表的な商品などは知っているけれども、それ以上に深く調べたことはない、という人が多いのではないのでしょうか。この授業では、会計情報を通じて企業を知る方法を学びます。商品やCMを見ただけでは分からない、ありのままの企業の姿を探っていきましょう。
---	--

生活環境マネジメント学科 13：55～14：25 3号館1階3155教室	デザイン思考からアート思考へ 准教授 深町 浩祥 現在、「アート思考」が注目されています。「デザイン思考」とは、ある商品やサービスを、顧客の視点から最適にするという従来の課題解決型の思考です。一方、「アート思考」とは、限りない試行錯誤を通して自身の信念や哲学を表現し、既成概念にとらわれない新しい価値を創造する思考です。それは、これからの時代に求められる課題発見型の能力です。体験授業では、みなさんの“思い”を表現するための思考練習をしましょう。
---	--

観光コミュニティ学部

観光デザイン学科 13：55～14：25 3号館2階3256教室	アフターコロナ時代の日本の観光政策と観光産業の未来像とは？ 准教授 篠原 靖 コロナの蔓延で大打撃を受けている観光産業は本当に大丈夫？ハイ、大丈夫です！今回の授業では日本政府が考えるコロナ時代に対応した新しい観光政策と水面下の戦略を分かり易く解説します。
---	--

コミュニティデザイン学科 12：20～12：50 3号館2階3256教室	コミュニティデザイン ～人がつながる仕組みを学ぼう～ 准教授 篠崎 健司 全国の様々な地域で、自分たちのまちをよくしたいとか、元気にしたいという取組が進んでいます。最近でも地震や大雨などの災害が続いています。こうした災害では人々が安心して豊かに生活していくためには、“絆(きづな)”や人の“つながり”が大切であることを改めて考える機会となっています。様々なまといで人と人とのつながりを活かした新しいまちづくりが始まっています。体験授業では、いくつかの事例から人がつながる仕組みを学び、コミュニティに関わっていくことの楽しさや可能性を見ていきます。
---	--

心理学部

臨床心理学科 13：55～14：25 3号館1階3156教室	障がいがあるって、どういうこと？ ～障害を持つ子の疑似体験と支援～ 准教授 小栗 貴弘 人にはそれぞれ、「得意なところ」と「苦手なところ」があります。「障害児」と言っても、基本的にはみなさんと同じです。ただし、少しだけ「得意なところ」と「苦手なところ」の差が大きいのです。本講座の中では、さまざまなワークを通して、障害を抱える子どもが、どのような“困り感”を感じているのか体験してみます。子どもの体験している世界がわかると、どのように接したらいいのか、少し見えてくるはずです。
---	---